

フィールドミュージアム構想

松山市では、小説『坂の上の雲』ゆかりの史跡や地域固有の資源を一つの作品にたとえ、市内全体を屋根のない博物館＝フィールドミュージアムに見立てたまちづくりを行っています。

忽那諸島サブセンターゾーン

春は柑橘の花の香り、夏は太陽と海と白い砂、秋は歴史漂う祭り、冬は黄金色に染まるみかんと、四季折々に訪れる人を魅了します。



三津浜・梅津寺サブセンターゾーン

主人公たちが青雲の志を抱いて旅立ち、降り立った古い港町。町並みや渡し船など往時の面影が今も息づき、梅津寺には、秋山好古・真之兄弟の銅像がたたずんでいます。



松山総合公園サブセンターゾーン

拠点となる松山総合公園は、季節の花と緑、そして眺望に恵まれた市民の憩いの場です。近辺には藤の名所庚申庵やうば桜で知られる大宝寺なども。



風早サブセンターゾーン

中世伊予の豪族である河野氏繁栄の足跡を色濃く残す歴史や文化を有し、鹿島や高縄山など魅力ある豊かな自然があふれています。



松山城周辺センターゾーン

松山市のシンボル松山城を背に主人公たちの生家跡や学校跡などが点在。汽笛を響かせながら坊っちゃん列車が走り、情緒ある県都として賑わっています。



道後温泉サブセンターゾーン

子規、漱石も通った道後温泉は、明治情緒が漂う日本最古といわれる名湯。周辺にはロシア兵墓地など小説ゆかりの地のほか、河野水軍の居城湯築城跡や宝厳寺などの史跡も。



久谷・砥部サブセンターゾーン

松山郊外の里山ゾーン。昔ながらの遍路道に沿って四国霊場の札所をはじめ、八ツ塚群集古墳など遍路遺跡が点在します。地元住民の手により、坂本屋や渡部家住宅でおせったいが行われています。

